

製品名: MET マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81755**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	155kDa

抗原情報

遺伝子名	MET
別名	HGFR; AUTS9; RCCP2; c-Met; DFN97
遺伝子 ID	4233.0
SwissProt ID	P08581
免疫原	大腸菌で発現したヒト MET (AA: 743-932) の精製組換え断片。

背景

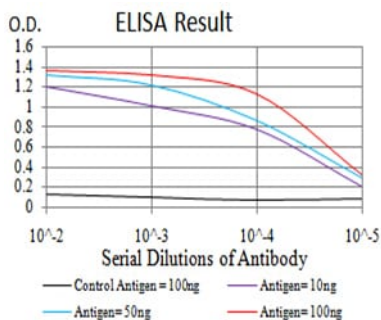
この遺伝子は、受容体チロシンキナーゼファミリーに属するタンパク質と、プロトオンコジーン MET の産物をコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに分解され、ジスルフィド結合に

よって成熟受容体を形成します。βサブユニットはさらに処理され、肺線維症を軽減することが示されている M10 ペプチドを形成します。そのリガンドである肝細胞増殖因子との結合は、受容体の二量体化と活性化を誘導し、細胞の生存、胚発生、細胞の移動と浸潤に役割を果たします。この遺伝子の変異は、乳頭状腎細胞癌、肝細胞癌、および様々な頭頸部癌と関連しています。この遺伝子の増幅と過剰発現は、複数のヒト癌とも関連しています。

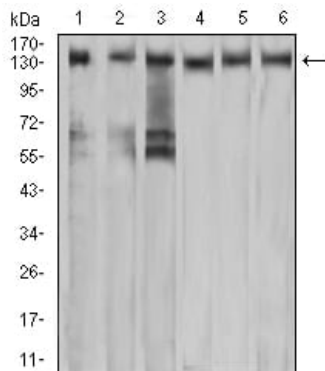
研究分野

TGF-βシグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

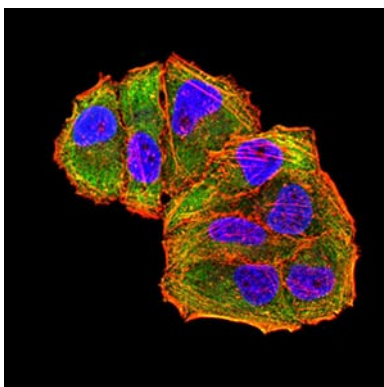
画像データ



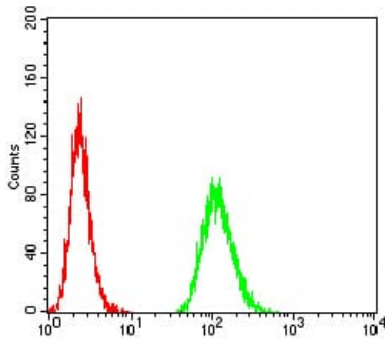
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



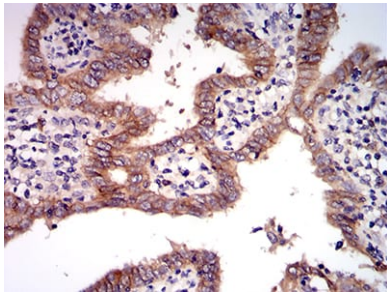
A549 (1)、COS7 (2)、HeLa (3)、HEK293 (4)、HepG2 (5)、および A431 (6) 細胞溶解物に対する MET マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



MET マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MET マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



MET マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。